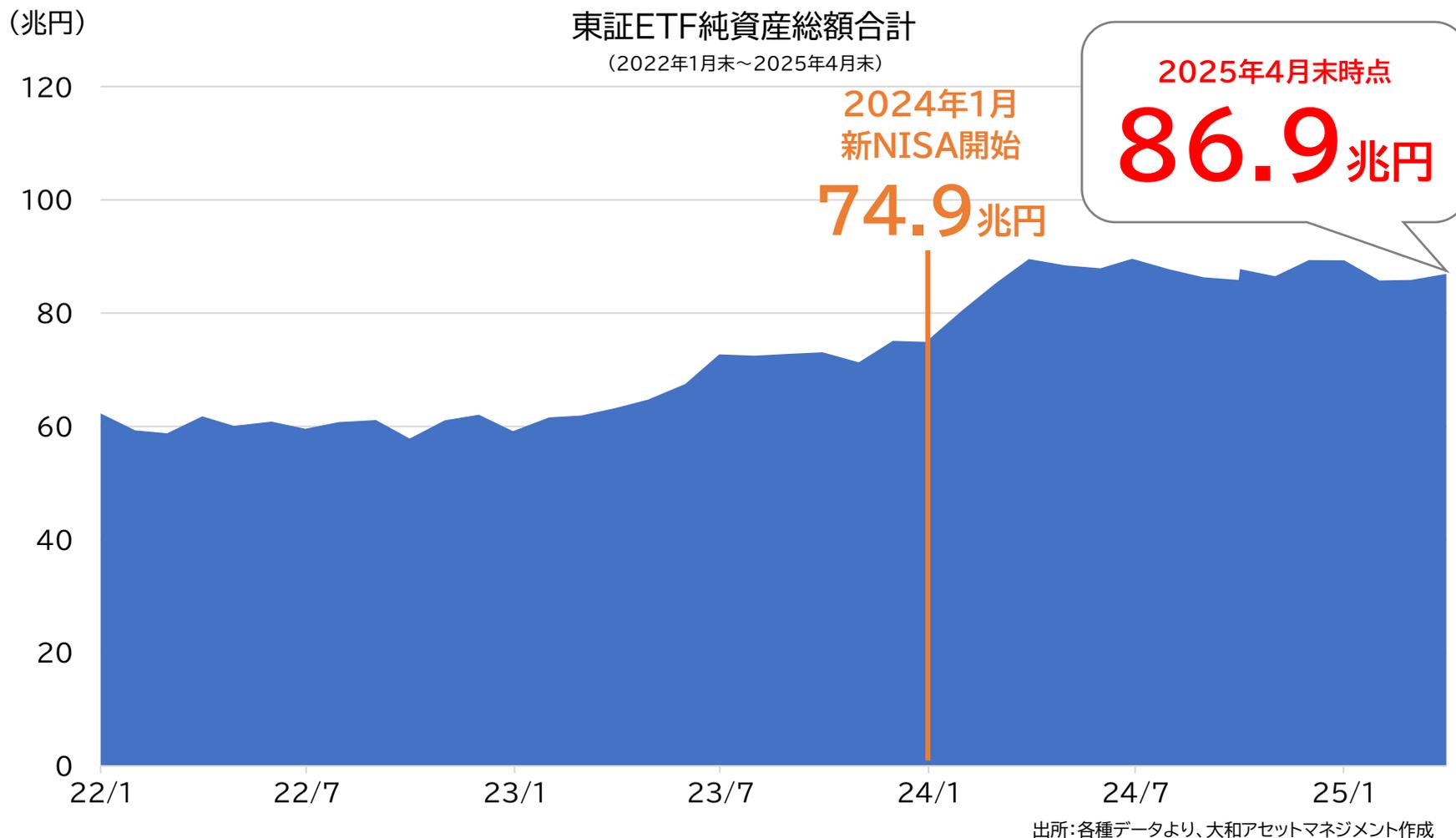


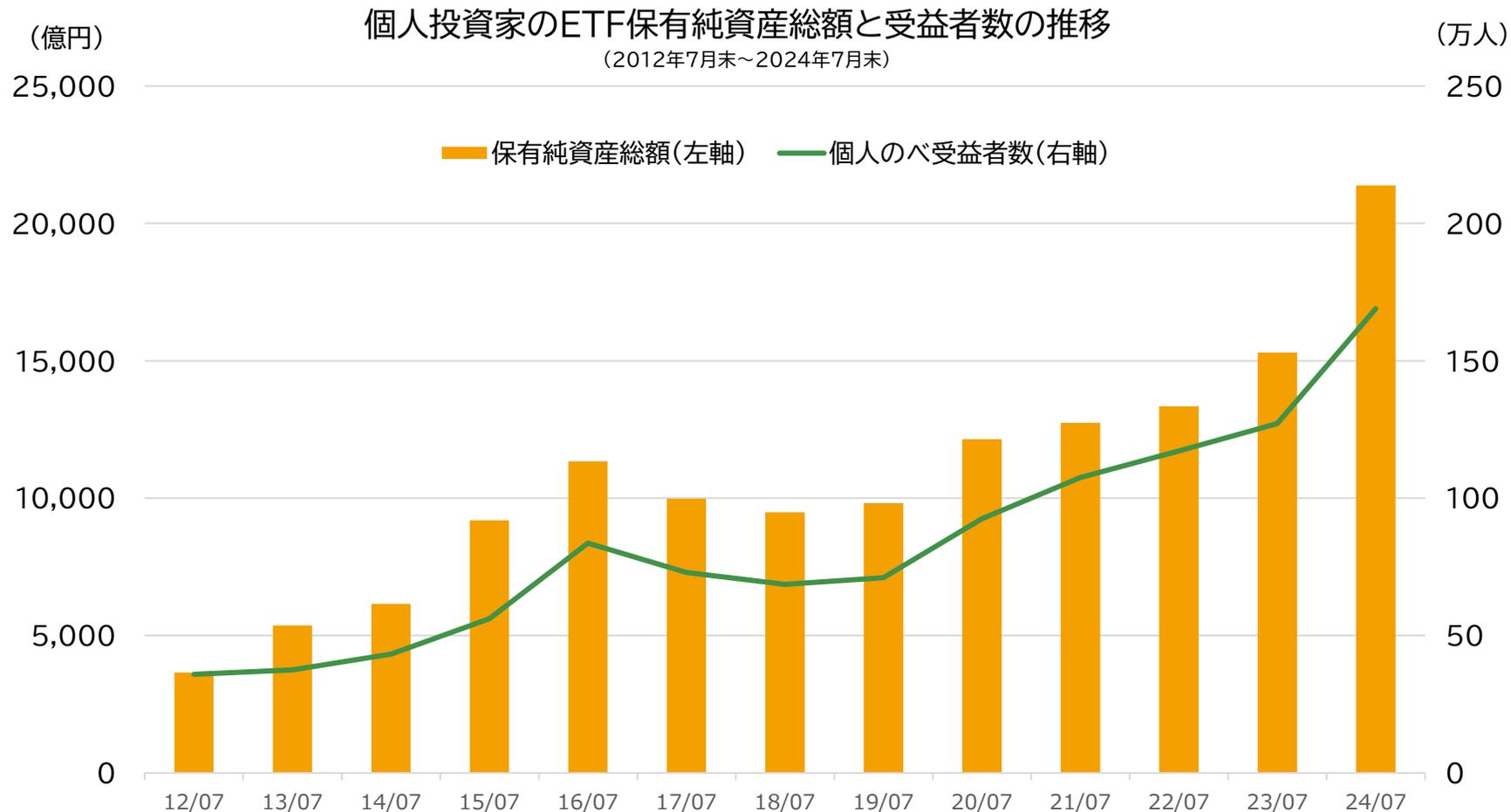
# 拡大を続ける東証ETF市場

・東証上場ETF市場は新NISAの追い風もあり86.9兆円まで拡大



# 個人投資家のETF保有状況

・個人投資家のETF保有金額、受益者数ともに右肩上がりで増加傾向



出所:東証「ETF受益者情報調査結果(2024年7月)」

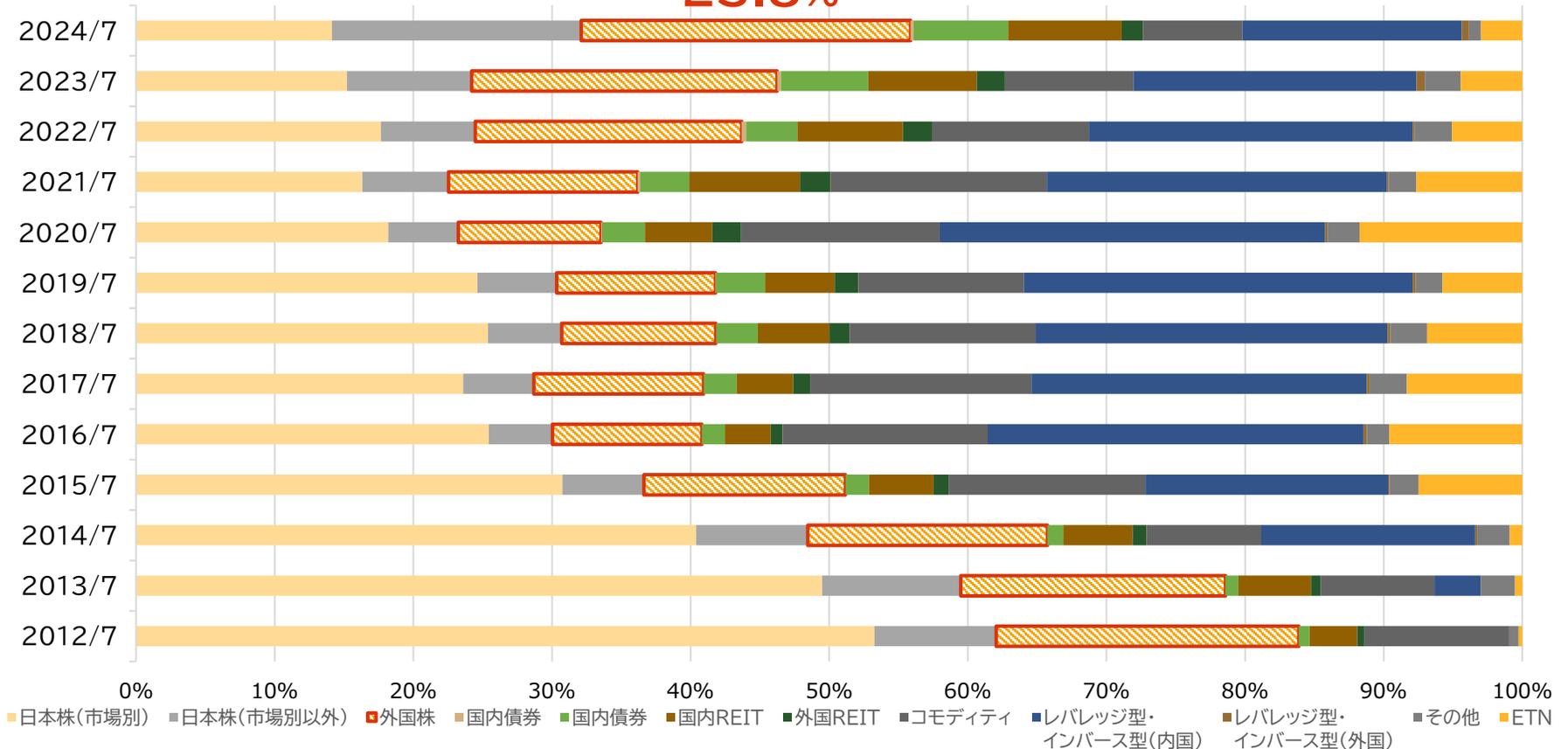
# 個人投資家のカテゴリー別ETF保有状況

・個人投資家のETF保有比率は外国株ETFの割合が23.8%と全カテゴリーで最大

ETFカテゴリー別 個人受益者数の推移

(2012年7月末~2024年7月末)

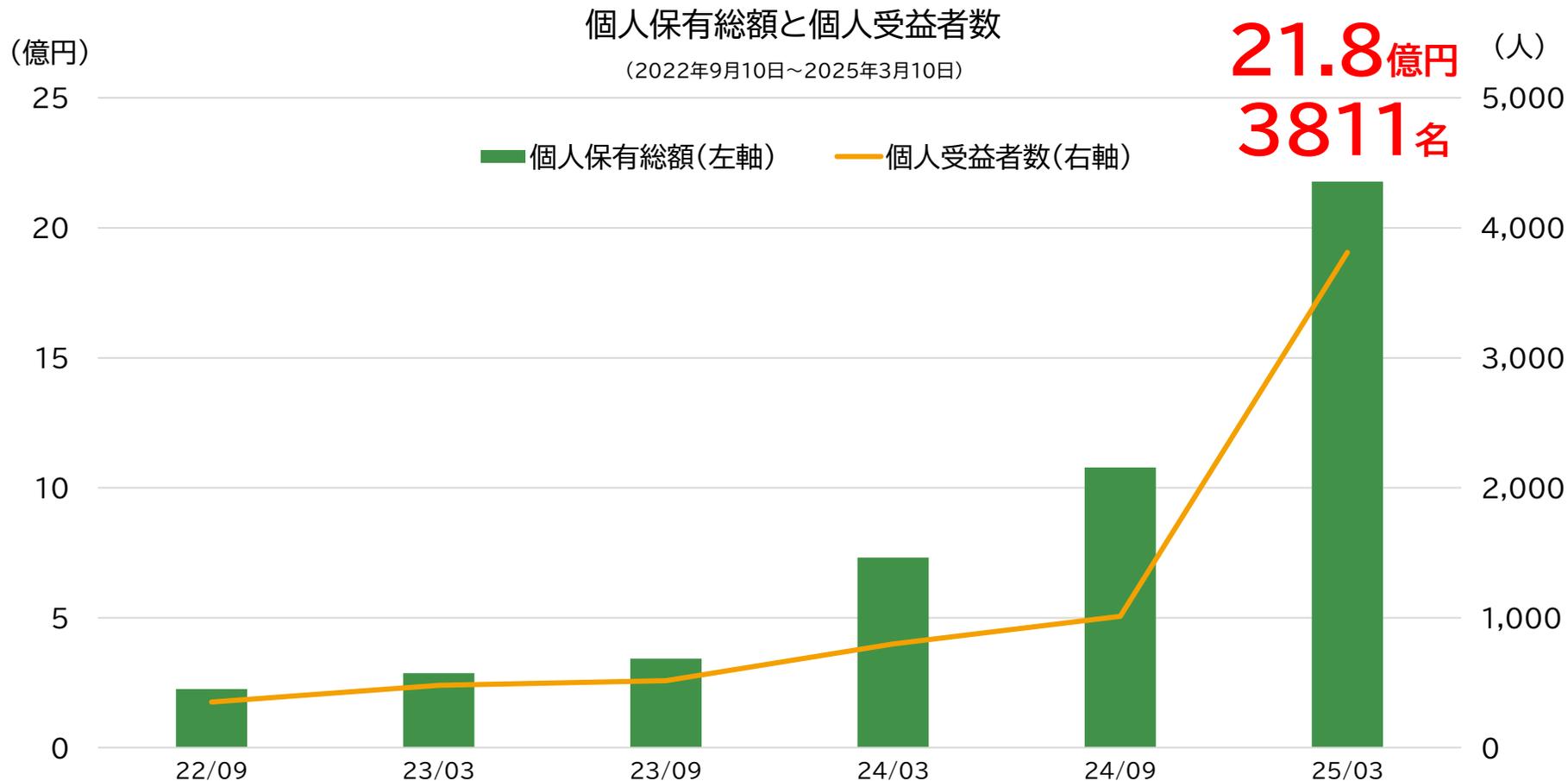
23.8%



出所:東証「ETF受益者情報調査結果(2024年7月)」

# 2840 iFreeETF NASDAQ100(為替ヘッジなし)

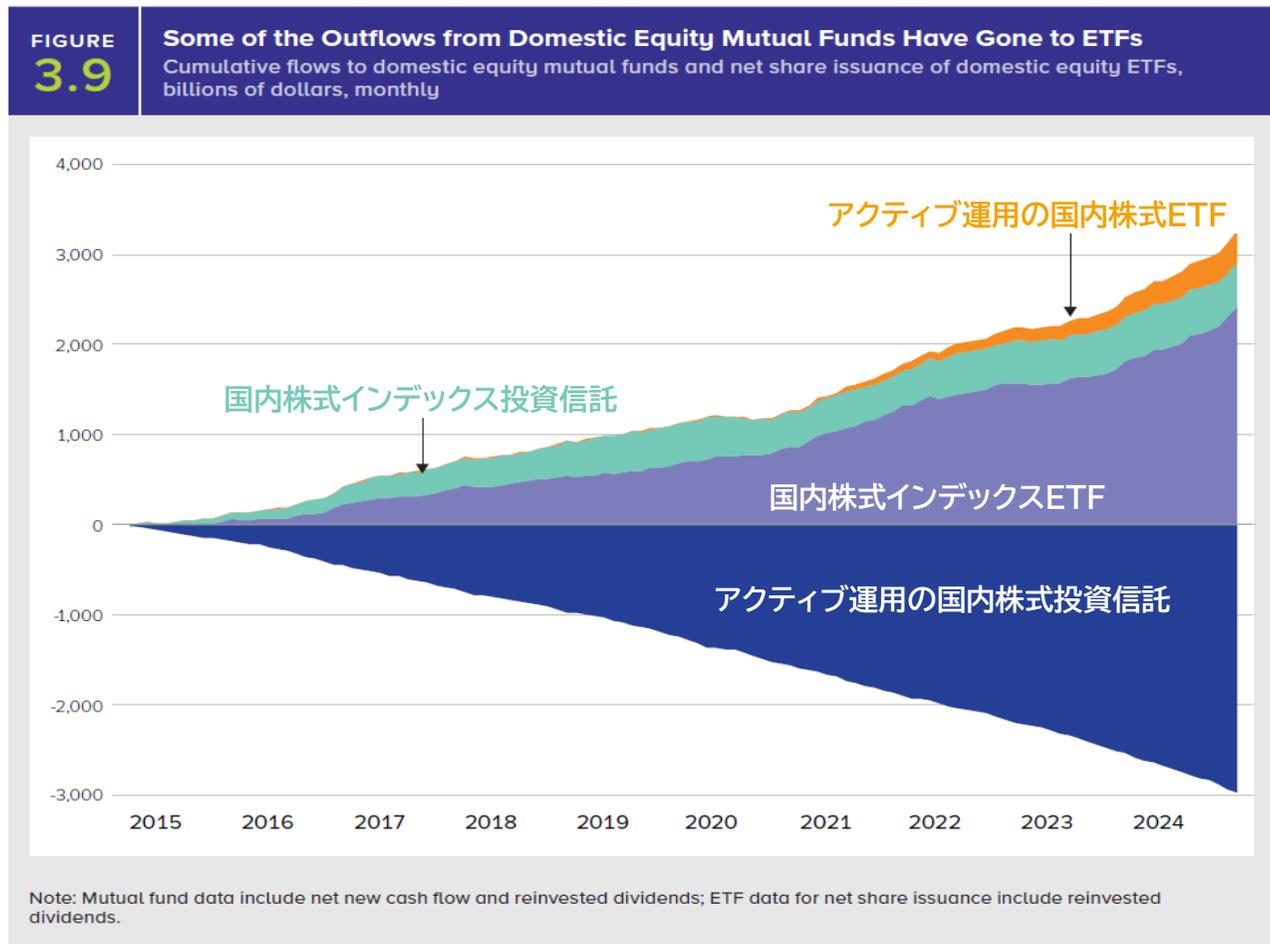
・24年12月に信託報酬の引き下げ(22bp⇒11bp)、受益権分割(1口⇒16口)を行い、個人受益者数、保有総額ともに大幅に増加



出所:各種データより、大和アセットマネジメント作成

# 米国でメジャーな投資商品はETF

- ・米国国内の投資マネーは、アクティブ運用投信からETFへシフトが継続
- ・401(k)プランからの流入、IFAによるポートフォリオアロケーションに活用



出所:ICI INVESTMENT COMPANY FACT BOOK 2025

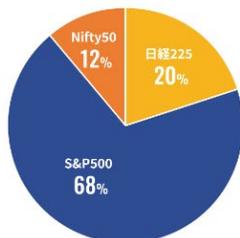
# ETFで自分なりのポートフォリオを構築

・日本株、米国株、インド株の各ETFで、オールカントリーと同等のリスクでさらなるリターンを得る組み合わせを構築

## 基本タイプ

リスク水準  
オールカントリー

構成資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国 S&amp;P500</li> <li>インド Nifty50</li> <li>日本 日経225</li> </ul>
条件	オールカントリーと同じリスク水準



※最適化の結果、すべての資産が組み入れられない場合があります

### パフォーマンス・シミュレーション



※2014年12月末を100として指数化

	1年騰落率	3年騰落率	5年騰落率	10年騰落率
基本タイプ	32.5%	67.8%	155.4%	281.2%
オールカントリー	31.0%	60.1%	133.8%	217.4%

※組み合わせの計算ロジックに関する詳細は[こちら](#)

### 結果

- リスクをオールカントリーと同じに抑えつつオールカントリーと比べ年率2.1%も高いリターンを実現

バンクアカデミーの小林亮平さんが  
分かりやすく解説！

追加で投資するなら何が？

全世界株式  
オールカントリー  
組み合わせシミュレーション

※YouTube（外部アカウント）の動画が再生されます。